

九重山

概 況

火山活動に大きな変化は認められず、引き続き静かな状態が続きました。

噴煙活動の状況

噴煙は白色・少量で、噴煙高度の最高は 800m でした(図 1、図 3)。

地震・微動活動の状況

火山性地震の発生回数は 43 回(8 月 55 回)で少ない状態で経過しました(図 2、図 4)。震度 1 以上を観測する地震、火山性微動はありませんでした。

地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、長者原 - 牧ノ戸峠、長者原 - 坊ガツル、牧ノ戸峠 - 坊ガツルの各観測点間の基線長に変化は見られませんでした(図 7)。

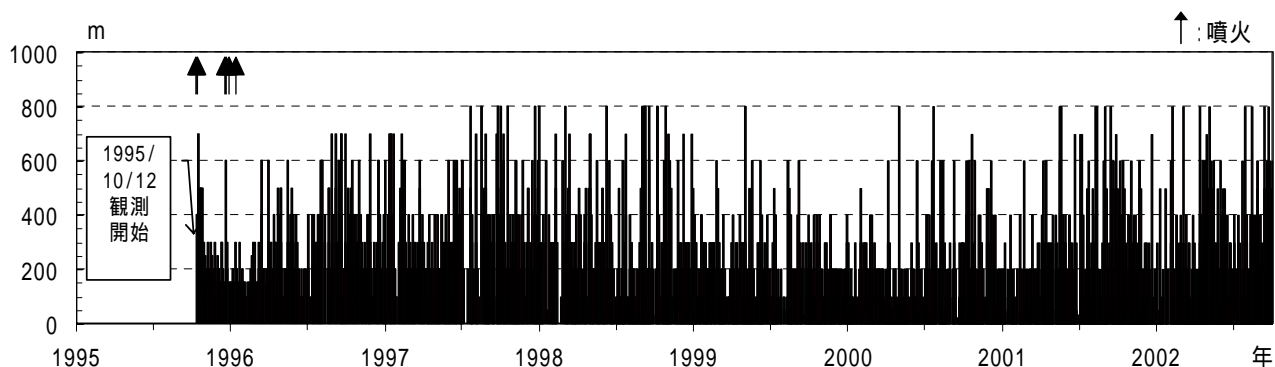


図 1 日別最高噴煙高度(1995 年 10 月 12 日～2002 年 9 月 30 日)

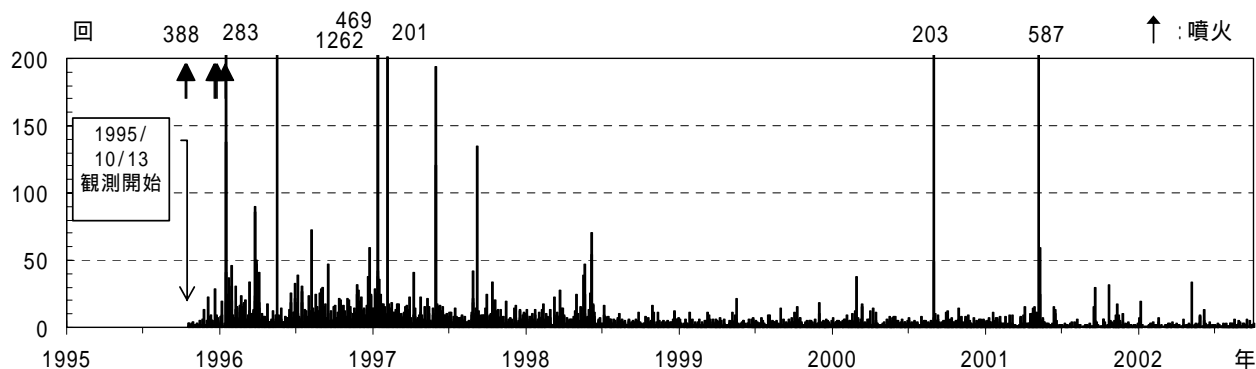


図 2 日別地震発生回数(1995 年 10 月 13 日～2002 年 9 月 30 日)

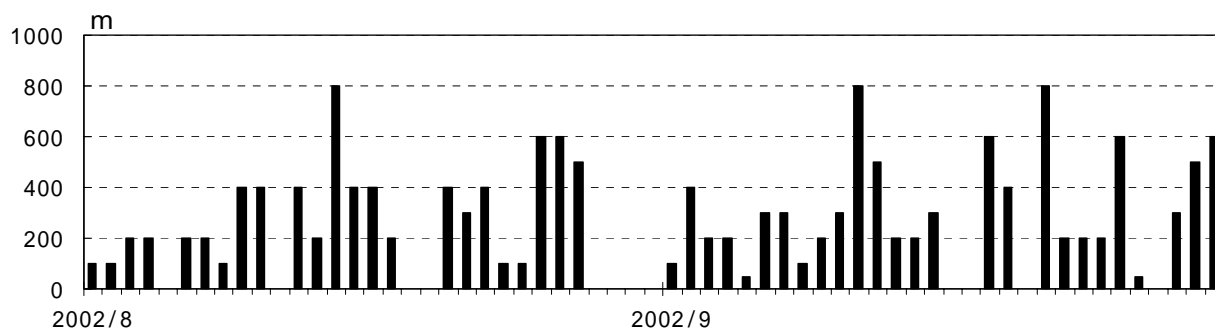


図3 日別最高噴煙高度(2002年8月1日～9月30日)

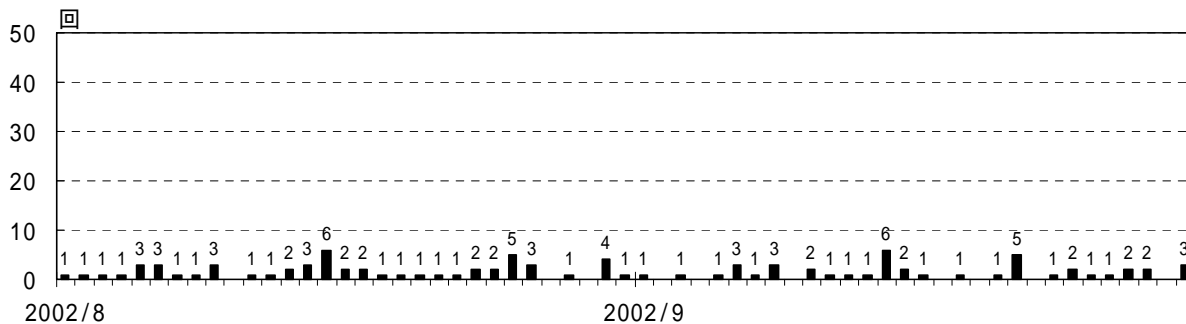


図4 日別地震発生回数(2002年8月1日～9月30日)

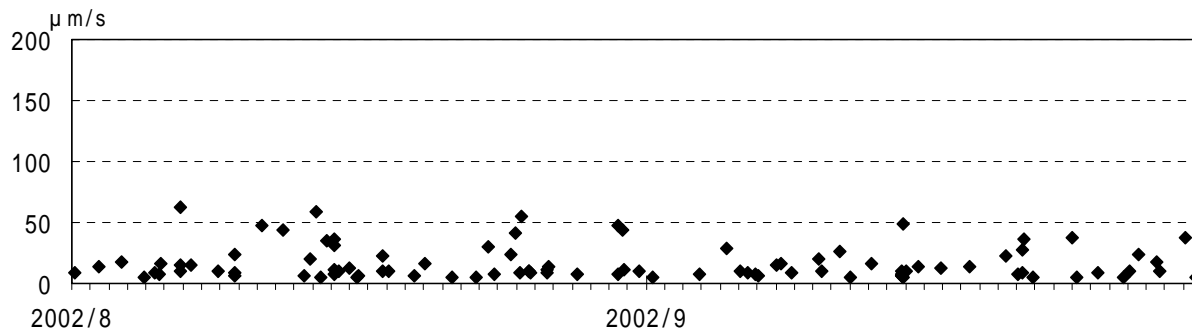


図5 火山性地震の振幅時系列変化(A点UD成分)(2002年8月1日～9月30日)

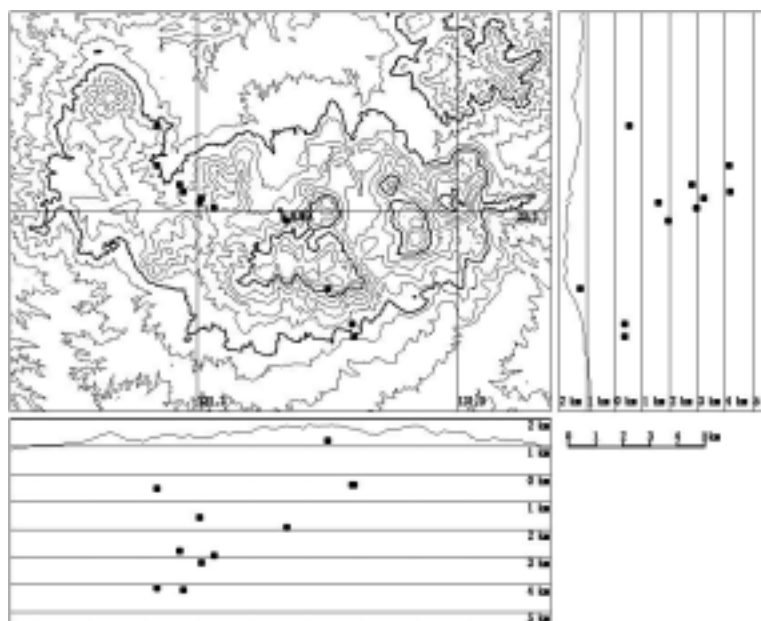
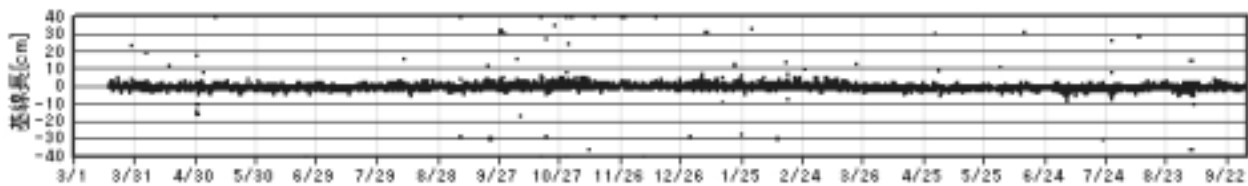
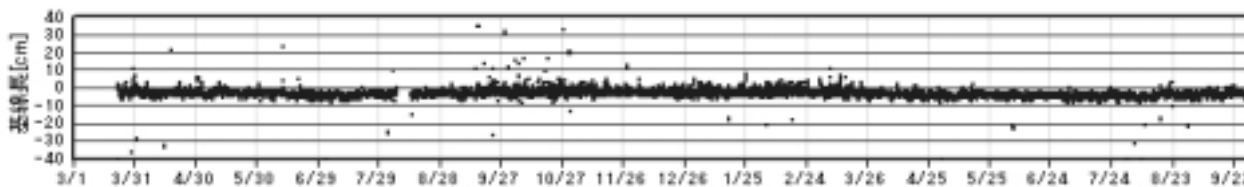


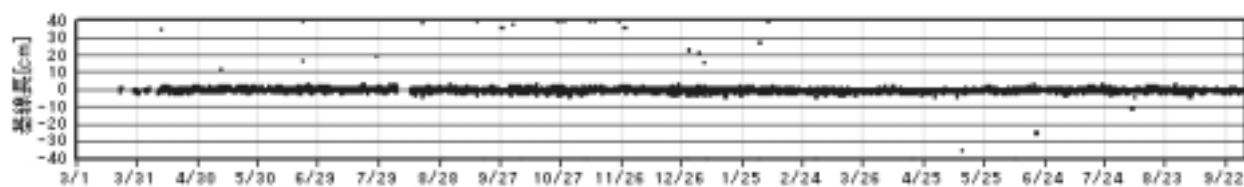
図6 火山性地震の震源分布(2002年8月1日～9月30日)



長者原 - 牧ノ戸峠の基線長(2001 年 3 月 22 日 ~ 2002 年 9 月 31 日)

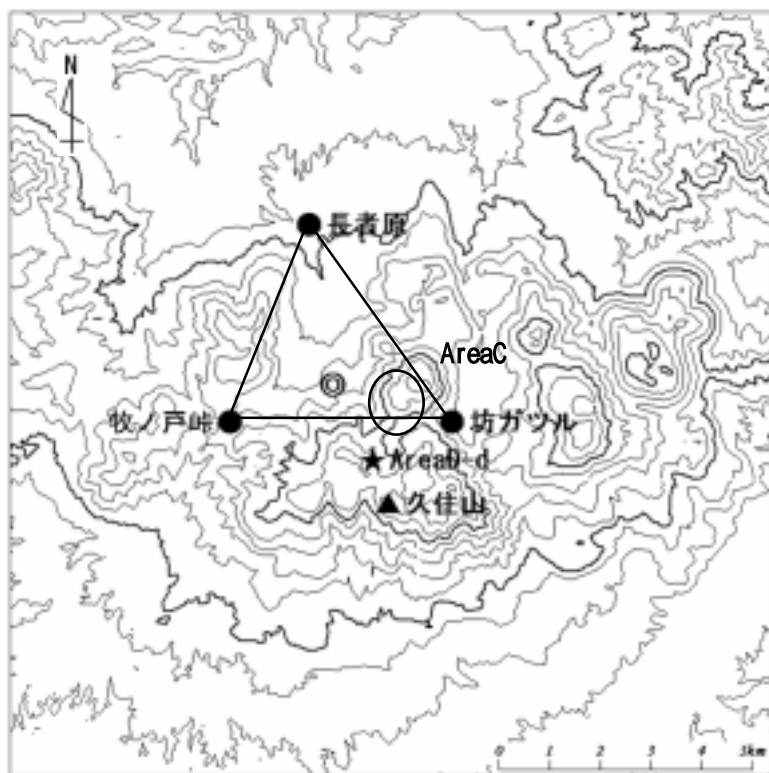


長者原 - 坊ガツルの基線長(2001 年 3 月 18 日 ~ 2002 年 9 月 31 日)



牧ノ戸峠 - 坊ガツルの基線長(2001 年 3 月 22 日 ~ 2002 年 9 月 31 日)

図7 GPS による基線長



Area D-d: D領域d火孔
(1995 年新火孔群のひとつ)
Area C: C領域

気象庁観測点
遠望カメラ1点(長者原)
地震計1点()
空振計1点()
GPS3点()

図8 観測点配置図